



農事組合法人 今山生産組合

多様な担い手による安定的な農業経営体に向けて

効率的で安定的な営農組織の取り組みで 農林水産大臣賞を受賞

北野町・農業生産組織の法人化

農業を支える担い手



収穫直前の稲穂、実りの秋の美しい景観です

北野町今山(江口区)を拠点に米、大豆、麦の生産活動を行う農事組合法人今山生産組合は、平成16年に地域の農家48戸の出資により設立した農業生産法人です。
郷土の農地を荒地にしないという組合長をはじめとする組合員の強い意思と会計担当理事による徹底した経理、財務管理により、継続的で健全な組織運営が行われています。

経営改善の徹底で
健全な組織を運営し
地域の農業を守る

品質の高い米・ 麦づくりで需要者 からの信頼を確保

今山生産組合では、今山（江口区）の農家が所有する全ての田、約43・6ヘクタールを耕作し、米、大豆、小麦、大麦を生産しています。

大型コンバインなどの機械導入、品種の統一による作業の効率化、コストの低減、収量の増加と品質の向上によって効率的で安定的な農業経営を確立しています。

今山生産組合の品質の高い農産物づくりと安定的な生産は需要者から大きな信頼と評価を受けており、生産された米は大手弁当チェーン向けに、大麦は大手焼酎製造メーカー向けに地元J.Aを通じて出荷されています。

経営改善に優れた 営農組織として 農林水産大臣賞を受賞

今山地区では、農業者の離農、高齢化、後継者の兼業化が進むとともに、米価の下落によって、これまでのように農家ごとの営農では、経営が成り立たなくなってきました。

そこで、機械を地区の農家で共同利用したり、作業を共同で行うなどの工夫を行ってきましたが、平成15年に地区の農地の土地改良事業が完了したことを契機に、組織の法人化を進め、さらに効率性の高い経営を目指すことになりました。

今山生産組合では、組合発足以来、組合長や組合理事のリーダーシップや組合員の努力によって、借入れ金なしの黒字経営を続けています。

このような経営改善の取組みや農産物の品質向上に努めた成果が認められ、今山生産組合は、平成18年度全国麦作共励会において、全国で最も優れた営農組織に贈られる農林水産大臣賞を受賞しました。

（写真上）米の収穫を行う大型コンバイン。今山生産組合は6台のコンバインを所有し、計画的で迅速な収穫作業を行っています。

（写真中）経営に関する情報は、常にわかりやすく整理され、組合員相互での経営情報の共有化を図っています。

（写真下）平成18年度全国麦作共励会農林水産大臣表彰を受ける池田組合長（当時）



農地・水・環境保全向上対策に基づく 取り組みにより農村環境を保全

農地・水・環境保全向上対策とは、地域住民と農業者が一体となって、農地のあぜ草刈り、農業用排水路の清掃など農村の環境保全への取組みを行う共同活動を行うことにより、国県市より一定の助成が受けられる制度です。

久留米市では、平成21年3月現在、今山生産組合をはじめとする84の地区で共同活動が行われています。

農地を含む農村地域は、農業生産の拠点であるとともに、水資源のかん養、洪水防止、土壌浸食防止、多くの生き物のすみか、酸素供給、大気の浄化、美しい景観や伝統文化による癒しの提供など都市住民にとっても欠くことのできない重要な機能を有しています。



農地・水・環境保全向上対策への取組みの一環として植えられたコスモス。美しいコスモス畑は今山地区を含む北野地域のシンボルでもあります。